

最優秀賞に選ばれた「そらみるトイレ」の図面



おokayamaCLT建築学生コンペ

「そらみるトイレ」最優秀

県公募 入賞8作品決まる

新材材のCLT(直交集成板)を取り入れた公衆トイレをテーマに県が募った「おokayamaCLT建築学生デザインコンペ」の入賞作品8点が決まった。強度が高いCLTの特徴を捉えた多彩なアイデアが寄せられ、県は西粟倉村の「道の駅あわくらんど」でのトイレ整備計画に活用する。

最優秀賞は、京都工芸繊維大の多田陽平さん、渋谷崇史さんとともに京都市による共同作品「そらみるトイレ」。天井部のパネルを所々くりぬいてガラスをはめ込んでおり、屋根全体が折り重なる複雑な造りとなっている。

「道の駅あわくらんど」のトイレ整備は、入賞作品を参考にしながら県が2016年度に実施設計を行い、17年度に施工する。CLTは板の繊維方向が直角に交わるように何層も重ねて圧着したパネルで、強度、断熱性に優れる。コンペ作品は昨年10月〜今年2月に県が募集。全国の生徒・学生から63点の応募があり、有識者らでつくる委員会が審査した。

(小谷章浩)